

2017年3月期 連結決算サマリー

2017年3月期 第2四半期 決算概況

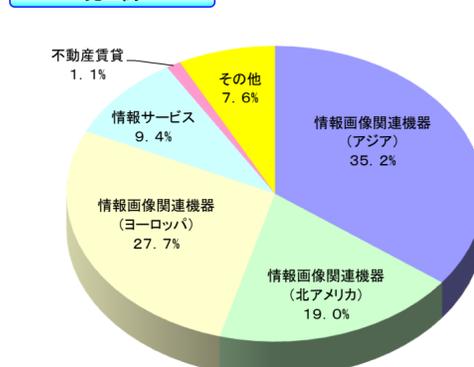
○経済環境  
 当第2四半期連結累計期間における世界経済環境は、米国景気が堅調に推移する中、他地域では欧州において英国のEU離脱問題などにより、景気の不透明感が一気に増大し、急速な為替の円高基調が進展し継続しています。加えて、中国を筆頭にアジア新興国においても依然景気停滞感が強く景気の先行きに対する不透明感は払しょくされておられません。  
 一方、国内経済においては、雇用情勢の改善傾向が持続し、生産活動に持ち直しの動きもみられるなど緩やかな回復基調は続いていますが、為替の円高の影響により、輸出企業の収益は圧迫され、企業の積極的な設備投資には伸び悩み傾向も見られるなど、景気の大きな改善は期待できない状況にあります。

○当社グループ  
 このような経済環境の中、当社グループは、為替の円高の影響による売上高の減少、原材料価格の上昇、中国を中心とするアジア地域の景気減速と競争激化による製品価格の下落圧力の影響を受けておりますが、継続して将来的な収益力向上を目的に経営基盤の強化と製品開発を推進してまいりました。  
 主力製品である大判インクジェットプリンタでは、ボードタイプ、ロールタイプ両方のメディアに広く対応したLED-UVハイブリッドインクジェットプリンタ「VJ-1638UH」、日本では使いやすい一問（1.8m）サイズに最適な最大プリント幅1.9m（75インチ）対応の高速印刷大判インクジェットプリンタ「VJ-1938X」と素材の伸縮性に問わず幅広いタイプのテキスタイルメディアに直接プリントが可能なダイレクト捺染インクジェットプリンタ「VJ-1938TX」の新製品3機種を発売し、製品ラインナップを拡充してまいりました。  
 また、米国ラスベガスにおいて9月に開催された世界最大規模のサイン・ディスプレイ関連の世界最大規模の展示会2016SGIAエキスポにおいて今期新発売の上記「VJ-1638UH」「VJ-1938TX」2機種と昨年度発売モデル「VJ-1628X」の3機種が「Product of the Year Award」を受賞いたしました。ValueJetシリーズとしては5年連続の受賞となりMUTOHの製品、ブランドは世界で高い評価を得ております。  
 この8月には、グローバル競争力の強化を目的として、当社の海外販売子会社を開発・生産拠点である武藤工業株式会社の傘下といたしました。これによって大判インクジェットプリンタにおける開発・生産・販売体制の一体化を図り、海外戦略の強化・拡大とスピード感のある経営を推進してまいります。  
 3Dプリンタにおいては、10月にポリカーボネイトなどのエンジニアリングプラスチック素材に対応したデュアルヘッド熱溶解積層（FDM）方式の業界初となるデスクトップ型3Dプリンタ「MF-2500EP」を新発売いたしました。  
 MUTOHは、今後もブランド力の強化、顧客ニーズを反映した製品ラインナップの拡充に力を入れ、収益拡大に向け取り組んでまいります。

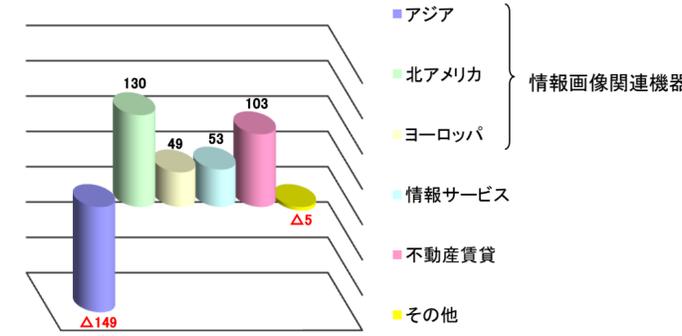
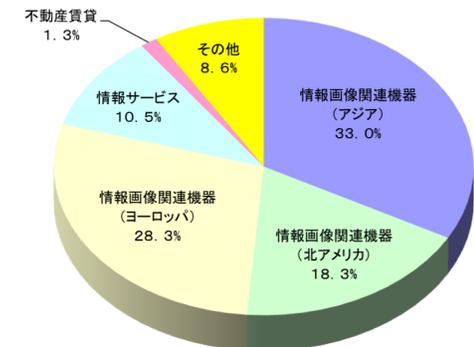
セグメント情報

-報告セグメント-		情報画像関連機器			情報サービス	不動産賃貸	その他	調整額	連結損益計算書計上額
		アジア	北アメリカ	ヨーロッパ					
2016年3月期	売上高	4,008	2,164	3,148	1,068	127	858	-	11,375
第2四半期	セグメント利益	△34	206	162	18	99	△44	△143	264
2017年3月期	売上高	3,252	1,807	2,797	1,035	128	847	0	9,870
第2四半期	セグメント利益	△149	130	49	53	103	△5	△84	16
増減額	売上高	△755	△356	△350	△32	+1	△11	+0	△1,505
	セグメント利益	△115	△75	△112	+35	+4	+39	+58	△166
増減率	売上高	△18.9%	△16.5%	△11.1%	△3.0%	+1.3%	△1.4%	-	△13.2%
	セグメント利益	-	△36.8%	△69.3%	+194.0%	+4.1%	-	-	△93.7%

売上高



セグメント利益



(百万円未満切捨て)

損益計算書	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額
売上高	11,375	9,870	△1,505
売上総利益	4,129	3,400	△729
(売上総利益率)	37.4%	34.4%	△2.9%
販売費及び一般管理費	3,865	3,383	△481
営業損益	264	16	△247
受取利息・配当金	11	11	+0
支払利息	1	1	+0
(金融収支)	+9	+9	+0
その他営業外損益	△36	△124	△88
経常損益	237	△98	△335
特別利益	100	23	△77
特別損失	2	130	+128
法人税等	335	△20	△355
親会社株主に帰属する当期純利益	0	△194	△194

増減コメント

○売上高  
 情報画像関連機器事業において、大判インクジェットプリンタでは、円高影響に加え、欧州・アジア新興国地域などにおける景気減速の影響を受けました。

○営業損益  
 原材料価格の値上がりによる原価率の上昇、為替円高の影響から減益となりました。

○経常損益  
 為替差損79百万円の計上等によります。

○親会社株主に帰属する当期純損益  
 特別損失として投資有価証券の評価損1億3百万の計上等によります。

○流動資産並びに固定資産  
 流動資産13億93百万円の減少  
 主に現金及び預金の減少7億28百万円、受取手形及び売掛金の減少9億82百万円、棚卸資産の増加1億69百万円、繰延税金資産の増加1億円等によります。  
 固定資産4億13百万円の減少  
 主に建物及び構築物の減少1億45百万円、投資有価証券の減少1億92百万円、等によります。

○流動負債並びに固定負債  
 6億77百万円の減少  
 主に流動負債で支払手形及び買掛金の減少3億65百万円、未払法人税等の減少1億94百万円、未払金の減少58百万円等によります。

○純資産  
 10億98百万円の減少  
 配当金支払い等による利益剰余金の減少5億15百万円、為替換算調整勘定の減少5億63百万円等によります。

○担保提供資産  
 ムトーノースヨーロッパ社ファクタリング債務に対する担保提供資産となります。

○設備投資額  
 主に情報画像関連機器事業の新製品金型への投資となります。

○開発投資額  
 大判インクジェットプリンタの主力機種「Value Jet」シリーズの新機種開発、ならびに3Dプリンタの開発等。

2017年3月期 第2四半期末コメント

○営業活動〔93百万円の収入〕  
 主に売上債権の減少7億71百万円、減価償却費の計上2億19百万円等の資金増加要因、棚卸資産の増加4億51百万円、法人税等の支払3億61百万円等の資金減少要因によります。

○投資活動〔97百万円の支出〕  
 主に有形固定資産取得による支出1億17百万円の資金減少要因になります。

○財務活動〔3億85百万円の支出〕  
 主に配当金の支払いによります。

セグメント情報

情報画像関連機器事業では、アジア地域においては、大判インクジェットプリンタの販売は中国をはじめとするアジア新興国の長引く景気低迷の影響と販売価格の下落などによる影響から減収減益となりました。北アメリカにおいては、為替の円高の影響により、減収減益となりました。ヨーロッパにおいては、北欧地域での好調な販売を維持するものの、為替円高による影響と欧州全般に広がる地政学リスクの影響により減収減益となりました。情報サービス事業では、販売は前年並みでしたが、3Dソリューション事業の収益性向上により増益となりました。不動産賃貸事業では、安定的な賃貸から前年並みを維持しました。その他の事業では、販売は前年並みに推移しましたが、円高により仕入価格が改善されました。

通期業績予想

当社グループを取巻く経営環境は厳しい状況が続く中、主力製品である大判インクジェットプリンタを中心に新市場開拓へ向けた新製品の投入など引き続き製品ラインナップの拡充に力を入れてまいります。また、グループ全体での組織再編などより強い企業体質を目指し収益拡大に取り組んでまいります。通期業績予想については、円高基調の継続と長引く国内消費の低迷に加え、直近の米国大統領選の結果を踏まえた世界的な不透明感の増大など不安定な要素が多く、合理的に業績を予想することが困難であることから、現在算定中であり、今後明確になり修正の必要性があると判断され次第、速やかに開示をさせていただきます。

平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日) 単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期	現在算定中であり、今後修正の必要があると判断され次第、開示いたします。			
(参考:当初予想)	24,000	800	800	400

業績予想に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、通期為替レートにつきましては、US\$:108円、EUR:123円としております。

(百万円未満切捨て)

貸借対照表	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	増減額
総資産	31,701	29,894	△1,807
流動資産	19,645	18,251	△1,393
固定資産	12,055	11,642	△413
負債計	7,783	7,074	△709
流動負債	5,438	4,760	△677
固定負債	2,345	2,313	△31
純資産	23,917	22,819	△1,098
(自己資本比率)	72.9%	73.8%	+0.8%

(百万円未満切捨て)

注記その他	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	増減額
担保提供資産	128	117	△11
(対応債務)	62	65	+3
保証債務	23	18	△5
	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額
設備投資額	1,198	102	△1,096
減価償却費	242	229	△13
開発投資額	884	631	△253

(百万円未満切捨て)

キャッシュフロー計算書	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	+2,042	+93	△1,949
投資活動によるキャッシュフロー	△1,599	△97	+1,502
財務活動によるキャッシュフロー	△392	△385	+7
現金及び現金同等物の期末残高	8,519	7,820	△699